

議会だより あまがわ



目次

令和4年度決算 町政の全貌に迫る!	2~5
質疑あれこれ	6~7
賛否の分かれた議案は次のとおりです	8
みなさんからの請願・陳情はこうなりました	9
追跡・あれからどうなった?	10
町政を問う 一般質問	11~20
議会あれこれ	21~23



大口町議会
ホームページ

No.238

令和5年10月26日

発行：愛知県大口町議会

令和4年度決算 町民1人あたりに使われたお金は？

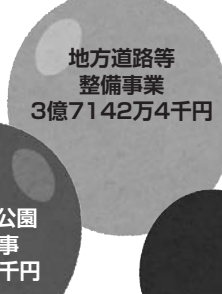
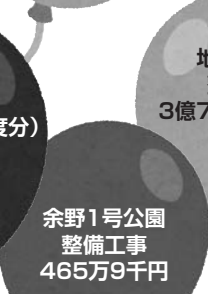
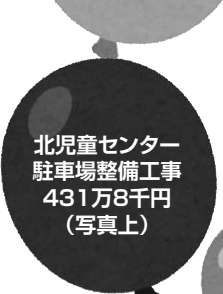
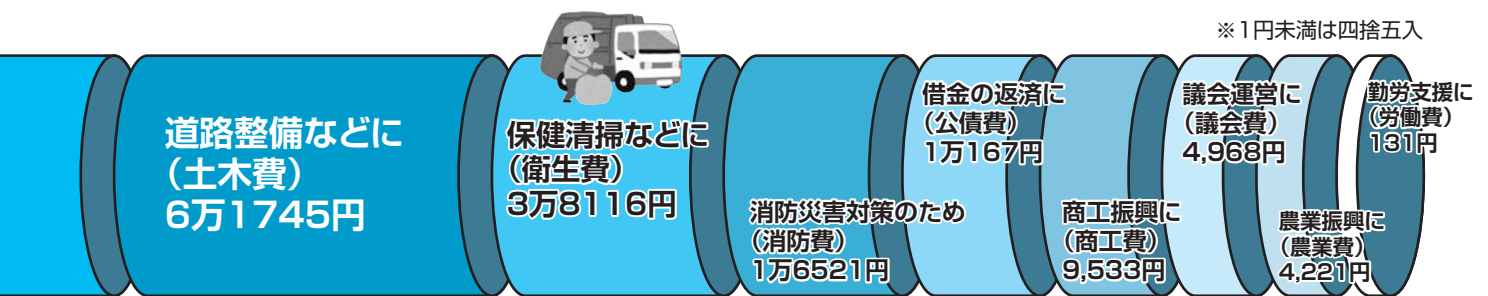
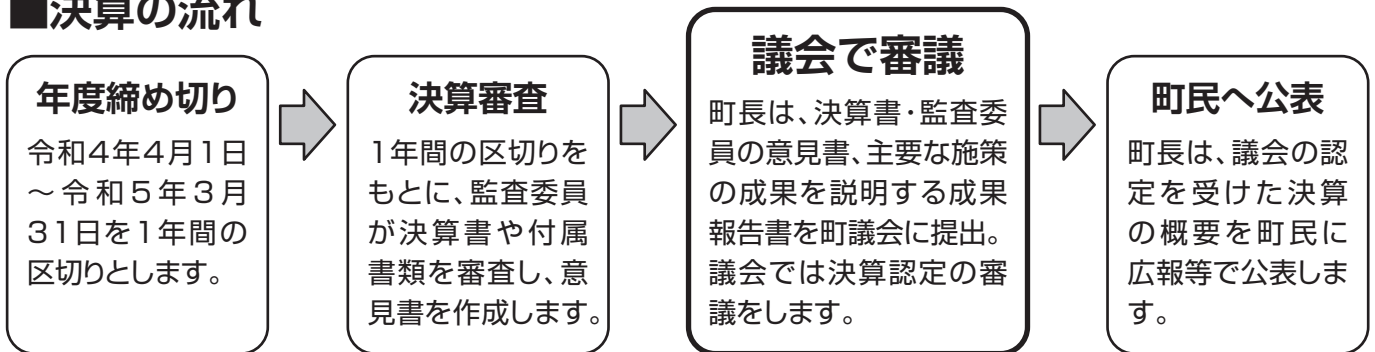
町政の全貌に迫る！

「町の財政健全度は？」

「令和4年度の町の収支は？」

議会では決算書を精査し、本会議にて質疑を行いました。

■決算の流れ



令和4年度 一般会計

(単位:円)

(単位:円)

入ったお金(歳入)		
自主財源 62.7%	町 税	5,905,674,950
	分担金及び負担金	10,019,620
	使用料及び手数料	101,278,093
	繰入金	39,692,829
	諸収入等	949,895,510
依存財源 37.3%	地方贈与税	91,602,000
	各種交付金等	1,061,282,233
	地方交付税	20,424,000
	国庫支出金	1,407,179,455
	県支出金	641,277,234
	町 債	947,300,000
合 計		11,175,625,924

使ったお金(歳出)	
民 生 費	3,273,898,206
教 育 費	2,173,131,021
総 務 費	1,600,763,333
土 木 費	1,496,331,431
衛 生 費	923,704,942
消 防 費	400,371,455
公 債 費	246,393,671
商 工 費	231,028,143
議 会 費	120,383,614
農 業 費	102,296,310
労 働 費	3,169,595
合 計	10,571,471,721

本町は地方交付税に頼らない財政です。
主に福祉や教育に使われていました。道路や橋、公園
といったインフラ整備にも多額の予算を使っています。

町民 **1** 人あたりに使われたお金は
43万6225円となりました

※令和5年3月31日現在の人口(24,234人)で計算

では、43万6225円の内訳はどうだったでしょうか

福祉等の充実に
(民生費)
13万5095円

学校教育などに
(教育費)
8万9673円

計画推進などに
(総務費)
6万6055円

主な事業内容

※金額は千円未満切り捨て



木橋新設工事
～花見橋～
6341万9千円



南・西保育園
空調設備設置工事
248万6千円

米価下落緊急対策
支援事業費補助金
1183万4千円

尾張北部
新ごみ処理施設
建設事業基金
積立金
4000万円

町制施行
60周年記念事業
231万円

地域交付金
3017万1千円

子ども条例策定
(支援委託)
99万5千円

令和4年度 歳入歳出決算総括表(一般会計・特別会計)

		歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	差引額 (A)-(B)
一般会計		11,175,625,924	10,571,471,721	604,154,203
特別会計	国際交流事業	1,284,616	1,284,616	0
	国民健康保険	1,937,546,479	1,876,779,495	60,766,984
	後期高齢者医療	355,902,964	354,471,114	1,431,850
	介護保険	1,349,980,318	1,331,040,946	18,939,372
	公共下水道事業	933,711,400	880,361,490	53,349,910
	土地取得	11,672	0	11,672
	次世代育成事業	11,844,193	11,844,193	0
	小計	4,590,281,642	4,455,781,854	134,499,788
合計	15,765,907,566	15,027,253,575	738,653,991	

監査委員 指摘と意見



代表監査委員
後藤 滋幹氏



議選監査委員
丹羽 勉議員

決算については、行政経営計画に基づいて執行され、決算及び決算書類は法令に準拠して作成されており、その計数も証書類と符合し適正であると認められた。

基金運用についても日銀による金利の緩和政策を受けて好転が見られる中、確実に運用益を求める努力がみられ、証書類とも符合し適正であると認められた。また、下水道事業特別会計は令和5年4月からの公営企業会計の設立に伴い、適正に移行、処理されたことを確認した。

行政経営状況として、財政力指数は1.10となり、3年平均では1.12を示し、昨年より1.02から1.08ポイント改善している。しかし、昨年に指摘した過去5か年間の数値と比較すれば、持ち直したものの右肩下がり気配を表している。

回復基調にある社会の中で、行政には住みよいまちづくりと住民の福祉の向上が使命としてあり、的確な政策の立案と執行、健全な財源の確保、安定した行政経営に努めなければならぬと考える。

(後藤氏講評)

委員監査を通して次のように評価する。

事業の中止・縮小により、高額な不用額が生じたにもかかわらず、年度末まで保留している。事業完了後は速やかに予算を補正することにより、他の事業に有効活用することが可能となる。

また、事業の企画にあたっては、先進市町村の情報積極的に収集・分析し、企画や手法を事業計画に取り入れる体制づくりを望む。

(丹羽議員講評)



江幡満世志議員



仙田王一議員

閲覧時の様子

議員は、行政経営状況を把握するため、「帳簿」と「伝票」を確認することができ、必要に応じて「決算帳票」の閲覧はあらかじめ申請が必要ですが、今回は9月4日に行われました。

「決算帳票」閲覧



収入

給料・パート収入 (町税、分担金、負担金、使用料)	215,400円
親などからの支援や奨学金など (国県支出金等)	115,300円
金融機関からなどの借金 (町債)	33,900円
ボーナス時等の貯金の取り崩し (基金繰入金)	1,400円
先月からの繰越し (繰越金)	19,100円
その他 (雑入)	14,900円
合計	400,000円

今月も
やりくりできたわ



支出

食費 (人件費)	69,500円
子どもの学費、家族の医療費 (福祉や児童手当などの扶助費)	55,000円
借地、光熱水、通信、保険料 (物件費、補助費)	105,000円
車や家具などの修理代 (維持補修費)	3,200円
子どもたちへの仕送り (特別会計などへの繰出し金)	36,500円
借金返済 (公債費)	8,800円
大型家電購入や家の増改築等 (道路整備などの普通建設事業費)	80,900円
貯金等 (積立金)	19,500円
翌月への繰越し (繰越金)	21,600円
合計	400,000円

厳密な意味では内容が異なる場合があります。()内は町決算の区分です。

会期 9月1日～25日



議会のあらまし

議案等

- ・ 議案第47号 大口町基金条例の一部改正について
- ・ 議案第48号 大口町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について
- ・ 議案第49号 令和5年度大口町一般会計補正予算(第4号)
- ・ 議案第50号 令和5年度大口町土地取得特別会計補正予算(第2号)
- ・ 議案第51号 令和5年度大口町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- ・ 議案第52号 令和5年度大口町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- ・ 議案第53号 令和5年度大口町介護保険特別会計補正予算(第1号)
- ・ 議案第54号 令和5年度大口町次世代育成事業特別会計補正予算(第1号)
- ・ 議案第55号 大口町立大口西小学校長寿命化改修工事の請負契約の変更について
- ・ 議案第56号 大口町国民健康保険税条例の一部改正について
- ・ 議案第57号 令和5年度大口町一般会計補正予算(第5号)
- ・ 議案第58号 令和5年度大口町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- ・ 認定第1号 令和4年度大口町一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について
- ・ 同意第14号 固定資産評価審査委員会委員の選任について
- ・ 同意第15号 教育委員会委員の任命について
- ・ 議員提出議案第4号 国の私学助成の拡充に関する意見書提出について
- ・ 議員提出議案第5号 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書提出について
- ・ 議員提出議案第6号 地方財政の拡充を求める意見書提出について
- ・ 議員提出議案第7号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書提出について

選挙管理委員及び

補充員の選挙

- ・ 選挙管理委員4名、補充員4名を選挙(指名推薦)で選び、補充員の順序については選挙管理委員長一任とした。

質疑あれこれ



議案質疑、総務建設及び文教福祉の各常任委員会での主な質疑です。

条例改正

大口町基金条例の一部改正

大口町立南保育園及び南児童センターの一体整備に係る土地の先行取得において、不足する土地開発基金の額を増額するため、この条例の一部を改正するものである。

問 南保育園建て替え等で出てきた議案だが、本来こうだった議案は、各委員会に説明なりあってしかるべきと思うが、どのように考えているのか。議会基本条例第6条には、『総合計画その他重要な政策を策定する時は議会と協議する』と明記してある。

答 土地所有者の方から土地提供の話があり、町で協議したところ、かねてより他の議員からも、南保育園の建て替えの話も出ており、そういった事を鑑み、今回先行取得という形で提案させていただいた。説明不足だった点に関しては反省している。



今回は先行取得という段階で、計画等の具体的な内容は決まっておらず、ほぼ白紙の状態である。今後進めていくときは議会と一緒に進めていく考えである。

補正予算

令和5年度大口町一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ2億5978万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1116億2722万1千円とするものである。

民生費

問 保育園のICT化を進めるという事だが、具体的な内容と期待される効果の説明を。また、スマホを持っていない保護者の対応は。

答 保護者のスマホにアプリを入れてもらい登降園管理をはじめ、欠席の連絡などは、保護者の空いている時間にアプリで出来るようになる。お知らせの配信なども出来るようになることで、保護者の利便性の向上が期待できる。また、職員の負担軽減を図ることができ、より園児たちと向き合う

●ICT化
情報通信技術を活用してコミュニケーションをより円滑にしたりする取組みのこと



時間が増え、保育の質の向上が図られると考える。来年4月からの本格運用を目指し、本年10月から全保育園で試行運用の準備を進めている。さらに、園児ひとり一人にバーコードの付いたカードを発行する。必ずしも保護者が登降園に来るとは限らない。例えば、祖父母の方が来ててもそのカードを使って登降園の管理ができるようにしてある。

問 感染症等予防事業の帯状疱疹ワクチン接種状況と今後の見通しは。

答 本年4月より始めた事業。9月8日時点での申請者数は456件。当初480件程を予定していたが、反響が大きく、3月末まで724件、300万円程の予算を追加させて頂きたい。

衛生費

感染症等予防事業
305万1千円の増額

決算認定

地方自治法第233条第3項の規定により、令和4年度大口町一般会計及び特別会計歳入歳出決算について議会の認定を求める。

〈歳入〉

問 町税決算状況について、町税決算額及び収納率によると町民税個人と軽自動車税種別割の収納率が、97%前後と、他と比較し低いようだが、税金滞納者に対しては、どのような対応で税納付をお願いしているのか。

答 現年度の滞納は納税忘れの通知をし、過年度の滞納は催告書や差し押さえ通告書を赤色封筒で送っている。滞納者には、窓口や電話で納税相談を行っている。相談に応じない滞納者には預金等の差し押さえも実施し、税の公平性の確保に努めている。

問 土木費雑入のネーミングライツ料（歩道橋）30万円について、現在の契約数と契約条件、今後の事業展開は。

答 現在は、2か所契約している。

契約条件に町内企業であるか否かは問わない。

「大口町ネーミングライツ事業実施要項」7条において、町が行う競争入札の参加資格要件とほぼ同一の資格要件が求められている。対象となる施設を町で指定する方式「募集型」においては、契約済の2つの歩道橋以外に新たに募集する施設はない。なお、事業者のほうで対象施設を提案する「提案型」については別。

〈歳出〉

総務費

問 総務管理費で、「電算システム開発委託料」「LIGWAN系クライアント機器更新」で合わせて7千万円以上の減額となっている。その内容は。

答 当初予算策定時は、基幹系システムと情報システムを物理的に分離しておくことを想定し、予算建てをしたが、機器の高騰等もあり、経費圧縮の研究をした。結果、「仮想化」という技術を採用することで機器の台数を減らしライセンス料も圧縮できた。

民生費

問 放課後児童クラブの報酬が令和3年度と比較すると増えているが、その理由は。

答 処遇改善と支援員増員が主な要因。令和3年度が20名、令和4年度が25名、本年度は26名となっている。

問 戸籍住民基本台帳等事業のコンビニ交付、数年前からコンビニでの交付が可能になっているが、支出金額をみると23万8563円とあまり増えていないような気がするのだが、その実態は。

町長 共働きが前提になってきた昨今、確実に児童クラブの需要は増えてきているが、現在の児童クラブの許容は既に限界にきている。今後は、施設の拡充、野外の遊び場確保、勉強ができる空間

など、子どもたちにとって必要なものを充実させていきたい。保護者の方々が安心して働きに行ける児童クラブを目指す。

教育費

問 大口中学校のルーバー塗装工事費946万円とあるが、これは何年に1回塗装をするのか。

答 ルーバーを初めて塗装したのは平成24年、その際は全面塗装をした。その際、今後の塗装計画を立て、北面は10年ごと、西面、南面は7年ごととした。西面、南面は令和元年度に実施し、今回実施したのは北面である。

問 リフレッシュゾート施設利用助成金、適用地域の再検討は。

答 令和4年度は、日間賀島が203件、昼神温泉が216件、共済施設が12件、松江が104件。これは地域間交流を重視してつくられたものであり、適用地は今後地域間交流を進めていくにあたり、そういう協力をいただけるということであれば、対象にしていくことも考えられる。



木製ルーバーが特徴の大口中学校

賛否が分かれた議案の討論要旨は次のとおりです

○=賛成 ×=反対 △=退席 ※議長は採決に加わらないため空欄

議案等	氏名	山崎	佐名	酒井	宮川	飯田	社本	松本	江幡	丹羽	仙田	藤田	鈴木	江口	大竹	齊木
議案第49号 令和5年度大口町一般会計補正予算(第4号)		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		○	○
認定第1号 令和4年度大口町一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	○	○	×	△	○	○	○		○	○

賛否が分かれた議案の討論要旨

●令和5年度大口町一般会計補正予算(第4号)

反対

江幡満世志

次の4点のことから

反対する

- 1 小学校施設管理事業漏水支出について、丹羽広域事務組合水道部と交渉が不十分であること。
- 2 西小学校工事において担当部署間の連携が不十分であること。
- 3 給料及び職員手当状況の明示に際し、特異事情の記載が不十分であること。
- 4 事業者向けの対策のみで住民への対策が不十分であること。

賛成

鈴木 和江

反対事由4点は適正に

処理されている

- 1 人的ミスはどこにでもあること。このことをもって丹羽広域事務組合水道部に交渉も持つべきことではないと考える。
- 2 西小学校工事において連携の不十分さはあったが、早期に気付いたことで被害は最小限に抑えられたと考える。
- 3 町長より既に善処するという話が出ている。
- 4 物価高騰は共通の理解だが、将来に備えることも重要。町民の方々と手を携え未来を見据え、共に歩んでいきたいと考える。

賛成

鈴木 和江

半分だけでも住民福祉に充てても良かったのではないかと考える。

●令和4年度大口町一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定

反対

江幡満世志

年度内で1億2千万円の増収があった。増収分のせめて



※他の議案については、全員一致で原案のとおり可決しました。

審査結果はこちらから

ご覧いただけます



請願・陳情提出期限について

請願・陳情の提出には締切日があります。ご希望される方は、提出期限をご確認の上、役場3階議会事務局へご提出ください。

※提出期限が土日祝の閉庁日に当たる場合はその直前の開庁日が期限となります。

上程する定例会	提出期限
令和5年 12月定例会	11月15日
令和6年 3月定例会	2月15日
// 6月定例会	5月15日
// 9月定例会	8月15日

みなさんからの 請願・陳情 はこうなりました

●請願 ※請願は、議員の紹介が必要である。

号	題名	提出者	本会議採択結果
3	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書	尾張地区教職員組合 執行委員長 秋吉那由多(他87名)	賛成全員により 採 択
4	抗がん剤治療等で働くことができなくなり、無収入になる人に対する医療費の無償化を大口町に求める請願	大口町余野 吉田正	賛成少数により 不 採 択
5	全国でいじめ重大事態の対応を疎かにした事案が問題視され始めている昨今。大口町は文科省や県教委による指導や助言が行われてもいじめ防止対策推進法に基づく重大事態の対応を拒み続けている。議会は教育委員会に対し問題点を整理させ、直ちにいじめ防止対策推進法に基づく調査委員会を開くよう、対応をする事を求める請願	大口町余野 吉田正 大口町下小口 稲垣学	賛成少数により 不 採 択

●陳情 ※陳情は、議員の紹介は必要ない。

号	題名	提出者	常任委員会採択結果
10	最低賃金の大幅引上げと全国一律化、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情	春の自治体キャラバン実行 委員会代表 西尾美沙子	総務建設常任委員会において 不 採 択
11	公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情	春の自治体キャラバン実行 委員会代表 西尾美沙子	総務建設常任委員会において 聞き置く
12	住民の安心・安全を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情	春の自治体キャラバン実行 委員会代表 西尾美沙子	総務建設常任委員会において 聞き置く
13	地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	春の自治体キャラバン実行 委員会代表 西尾美沙子	総務建設常任委員会において 採 択
14	保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情	春の自治体キャラバン実行 委員会代表 西尾美沙子	文教福祉常任委員会において 聞き置く
15	介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、複数配置をあたりまえにすることを求める意見書の提出を求める陳情	春の自治体キャラバン実行 委員会代表 西尾美沙子	文教福祉常任委員会において 聞き置く
16	「1年単位の変形労働時間制」導入のための条例制定ではなく、教職員の長時間過密労働解消のための施策を求める意見書の提出を求める陳情	春の自治体キャラバン実行 委員会代表 西尾美沙子	文教福祉常任委員会において 聞き置く
17	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情	私学を良くする愛知父母懇 談会江南・大口・扶桑ブロッ ク 竹下友二	文教福祉常任委員会において 採 択
18	愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情	私学を良くする愛知父母懇 談会江南・大口・扶桑ブロッ ク 竹下友二	文教福祉常任委員会において 採 択
19	私立高校生の父母負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために大口町独自の授業料助成制度の拡充を求める陳情書	私学を良くする愛知父母懇 談会江南・大口・扶桑ブロッ ク 竹下友二	文教福祉常任委員会において 聞き置く

☆採択の請願、陳情については、内閣総理大臣をはじめとする国の関係機関や県に、意見書を提出しました。

提出した意見書

- ・ 国の私学助成の拡充に関する意見書
- ・ 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書
- ・ 地方財政の拡充を求める意見書
- ・ 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書



追跡! あれからどうなった



1年前

の一般質問のその後をお伝えします

令和4年9月定例会にて質問

男性用の個室トイレにも サニタリーボックスの設置を

前立腺がんや膀胱がん等の手術により、尿パットが必要になった方が捨てられるよう、公共施設からサニタリーボックスの設置ができないか。

佐名かよ子議員の質問

質問者の満足度

病気を患ってみえるかたも安心してトイレを使用できると思われます。それぞれの目線に立った、サービスの向上に期待いたします。

にっこり 😊

【当時の回答】

まずは役場庁舎1階の東西、2階西側、健康文化センターの男性用個室トイレに設置する。使用状況などを見ながら他の施設にも広げていきたい。



令和4年12月末に、役場本庁舎の男性用個室トイレ8か所にサニタリーボックスを設置し、案内文を掲示した。健康文化センター、中央公民館（1階老人福祉センターと3階図書館を含む）は、11月中に設置するための購入手続きを進めている。

五条川沿いの道路 ガードレール未設置区間の安全を

ガードレールが設置されていない区間の対応はどのように考えているのか。

江幡満世志議員の質問

質問者の満足度

まずは一步前進。これで終わりではなく更なる対策をしていただきたい。

まあまあ 😐

【当時の回答】

河川管理者である県と協議し、河川に影響を与えないことが前提で防護柵や反射板を設置して安全に通行できるよう対策を進めたい。



今年度は、桜橋下流の河川側車線から見て右カーブとなる区間で、視線誘導標（デリネーター）を22基設置。現地は外側線が消えている区間があり、追って引き直しをする予定。今後は、現地の状況を確認しながら、危険度が高いと考えられる箇所から、優先的に安全対策を進めていく。



町政を問う 議員による一般質問

一般質問とは、町長（執行機関）に対して、町の考え方や町民生活に関わる大切な内容について聞いた
 だすものです。大口町では年4回の定例会でのみ、一般質問を行うことができます。
 令和5年9月定例会では9人が一般質問を行いました（持ち時間は1人あたり70分です）

議員名	これらを問いました	ページ
 せんだ きみかず 仙田 王一	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの現状 ここ数年間どんな状況か 	12
 さかい いっぺい 酒井 一平	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつはコミュニケーションの始まり ・こども家庭センター 設置の有無と、その役割や連携は 	13
 さな こ 佐名 かよ子	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェに対する支援を ・給食センター調理室の熱中症対策は 	14
 やまさき たくみ 山崎 卓美	<ul style="list-style-type: none"> ・西小学校ビオトープ 生物多様性・ビオトープの維持管理は ・奨学金返還支援 選ばれる町として後押しを 	15
 おおたけ しんいち 大竹 伸一	<ul style="list-style-type: none"> ・大口町のプロモーション戦略 地域住民による魅力の語り合いを ・新農業法人設立の進捗状況 どの程度の面積が農業保全事業として復元が可能か 	16
 まつもと けいこ 松本 佳子	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全に暮らすために これからの公園の在り方とは 	17
 みやがわ もとひで 宮川 基英	<ul style="list-style-type: none"> ・小口城址公園 お堀整備の現状は ・ラーケーションの日 制度の詳細と導入の経緯は 	18
 えばた みつよし 江幡 満世志	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの権利のための条例 その取り組みや施行時期は ・学校給食費を無償に 国が無償化を早く実施するためにも、本町が実施してはどうか 	19
 にわ つとむ 丹羽 勉	<ul style="list-style-type: none"> ・南保育園建設計画 進捗状況はどうなっているか ・法人町民税率の引き下げと固定資産税軽減 減収分の国の交付金はあるか 	20

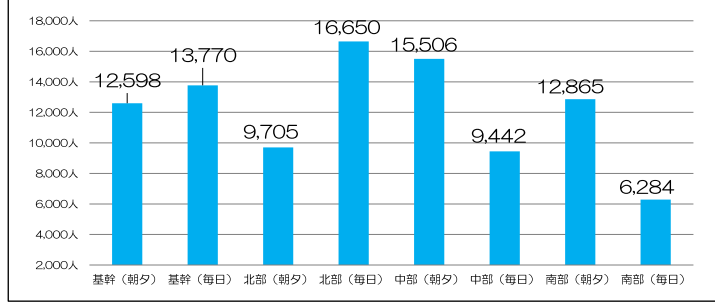
コミュニティバスの現状

ここ数年間どんな状況か

部長 燃料費や人件費の高騰の影響で経費が増加

問 コミュニティバスの現状について、ここ数年間どんな状況か。

答 コロナ禍の影響で、令和2年度に利用者数と運賃収入がともに大きく減少したが、徐々に回復傾向にある。
運行経費については、燃料費や人件費の高騰の影響で増加傾向にある。



ルート別利用者数
(令和4年度)※仙田議員調べ

問 この事業の目的が、公共交通機関のない本町の「暮らしの足」の確保であるが、「2024年問題」と言われるバス運転手の労働時間の見直しによる影響とそのタイミングは。

答 この法改正による一番の影響は、運転手の1日の休憩時間が継続8時間から9時間になり、各路線の始発便、最終便の時間見直し、利用者の少ないバス停・便の廃止が求められることになる。
これらに沿うため令和6年4月にダイヤ改正を行う。

その後の見直すタイミングについては、利用者数や道路状況を鑑み、優先順位を検討していく。

問 今後、この事業を継続するにあたり、本町としての考えは持っているのか。

答 経費高騰による財源負担が増す現状ではあるが、本町のバス事業の目的は、「暮らしの足」の確保にあり、今後の高齢化進展などを鑑み、その必要性は高まるとの認識を持っている。バス事業の重要性を理解し、事業者とも話し合い、連携しながら継続していきたい。



令和5年9月定例会
一般質問(仙田議員)

小学校での指導・教育はどのように

部長 意識を高める指導を行っている

問 挨拶したほうが良い理由や、社会での必要性についてどのように教えているのか。

答 人は関わりの中で生きていくため、人間関係を構築する「力」が必要。特に朝の挨拶は1日のスタートをより良くするものとして大切であると教えている。また、行事等の最後には相手に対する感謝の気持ちを言葉や「礼」といった動作で伝える大切さを教えている。

問 地域との関わり方はどのようになっているか。

答 登下校ボランティアによる見守り、地域自治組織の皆さんの協力で実施している「自転車教室」や「防犯教室」、地域学校協働本部のボランティアなどとの関わりの中で、学校と地域が一緒になって子どもたちを育てていただいている。



登校時の小学校の様子

こども家庭センター

設置の有無と、その役割や連携は

部長 令和6年4月の設置に向け準備をしている

問 こども家庭センター設置の有無と、その役割や連携は。

答 令和5年4月より、組織の再編を行い、令和6年4月の「こども家庭センター」設置に向け準備をしている。

現在設置している子育て世帯包括支援事業と、子ども家庭総合支援拠点の機能を見直し、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもに対し、一体的に相談支援を行い、関係機関のコーディネートを行いつつ、ソーシャルワークの中心的な役割を担っていききたい。

問 今ある、様々な窓口で受けていた家庭で起きた相談を、今後こども家庭センターができた場合は、どのような相談窓口が一本化され関係部署に繋いでいくと考えている。

答 まずは困ってみえる方のお話をお聞きすること。そこから問題解決の

糸口を探り、利用できるサービスの紹介や関係機関へ繋ぐことが子育て相談・支援のワンストップ化であり、「こども家庭センター」に求められる役割。このために保健師や社会福祉士など、専門知識や経験を持った職員が配置されている。



令和5年9月定例会
一般質問(酒井議員)

認知症カフェに対する支援を

一般質問

佐名かよ子

仲間づくり情報交換の場、その活動を支援はできないか

部長 大口町らしい認知症施策のあり方を検討

問 平成24年の国のオレンジプランにより、認知症にカフェの取り組みが全国的に広がっている。本町の認知症カフェの運営状況は。

答 本町では2か所で認知症カフェが実施されている。社会福祉協議会が実施するオレンジカフェが月1回、地域住民による「青空あかりサロン」が月1回実施されている。

問 認知症カフェに対する支援はどのようなことがあるか。

答 いずれの認知症カフェも独自で実施されており、町として特別な支援は行っていない。



認知症カフェの様子

問 カフェに参加されている方や、そのご家族からの声は届いているのか。

答 認知症の方の介護をしている方からは、少し肩の荷をおろし、同じ境遇の方と話をすることで発散、情報共有できる「介護者同士の交流の場」を求める声が上がっているとの情報を頂いている。

給食センター調理室の熱中症対策は

7月に調理員の暑さ対策を要望したが、その後どうなっているか

部長 冷却ベストとスポットクーラーの増設を検討

問 7月中旬に給食センター調理室の暑さ対策に関する空調設備や調理員の暑さ対策について、早急な対応をお願いしたが、その後どうなっているのか。

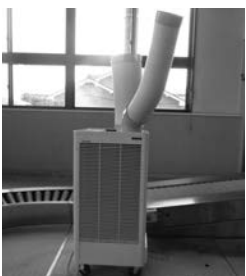
答 夏休み期間中に、調理員に空調ファンが付いた白衣を試していただいたが、エプロンをするところから、あまり効果が得られなかった。

保冷剤4個を背中と両脇に入れるタイプの冷却ベストを試したところ、直接体温を下げる効果が

約半日あり、午後には保冷剤を入れ替えることで1日中熱中症対策に有効であることを確認したので購入をした。



冷却ベスト



スポットクーラー



令和5年9月定例会
一般質問(佐名議員)

2学期から、すべての調理員がこのベストを着用し、熱中症の予防をしていきたい。

調理室は、当面、今あるスポットクーラーの配置を工夫し、来年度の夏までに増設をしたい。

西小学校ビオトープ

生物多様性・ビオトープの維持管理は

部長 知恵を出し合い組織づくりを検討

問 環境保全に関わる施策、西小学校ビオトープ等における生物調査や環境保全等の取り組みを住民団体等との協働によって推進するところがあるが、平成13年に作られた西小学校のビオトープ整備の背景は。

答 平成12年の西小学校長より、住宅地に囲まれ、水辺環境に触れる機会が少ないことから、ビオトープ整備への想いを受けた。町として、住民・企業・行政が一緒にまちづくりに関わる「協働の精神」へ踏み出したところであり、協働の実証の場として、地域住民と事業所が集まり、ビオトープが整備された。

問 現在、ビオトープは草木が繁茂。外部から施設内が見えず、地域住民に開放されているにも関わらず、入りにくい状況。維持・管理の課題は。

答 定期的に修繕を実施してきたが、漏水や外来種生物への対応に苦慮している。長年にわたり施設運営・管理に携わっていただいた方々の高齢化により、活動の継続が難しくなっている。

問 ビオトープを持続可能なものとするために行政はどのように関わることができるか。今後の取り組みは。

答 ビオトープは西小学校の教育活動に欠かせないもの。今年度からは行

政も西っ子里山クラブの会合に参加しており、高齢化に伴う運営面の課題も新しく関わって頂ける方々を募り、皆さんと知恵を出し合いながら組織づくりを検討する。

奨学金返還支援

選ばれる町として後押しを

部長 年間1万円を3年間お渡ししている

問 義務教育課程終了後の大学などの高等教育から家庭負担が大きくなる。日本学生支援機構の奨学金制度を利用したと想定される方の数は、おおよそ2人に1人という状況。本町で奨学金返還支援制度を取り入れた背景と支援金額について、その効果は。

答 貸与型奨学金を受けた学生は、卒業とともに多額の返済金を背負い社会へ出る。社会へ出て活躍しようという段階で返済金の不安を感じながら過ごすことは若い力の発揮を阻害する要因になりかねないので、対象者に年間1万円を3年間お渡ししている。

問 地域産業でも人材不足は喫緊の課題。文科省が学校教員の奨学金返還を減免する制度を設ける方針との報道があるが、このような制度は地域産業の人材不足の解消、優秀な人材を確保することも期待できる制度と考える。企業の奨学金返還支援制度（代理返還）とは。

答 日本学生支援機構の貸与奨学金を受けていた従業員に対し、企業が返済金額の一部、または全額を代理で返還する制度。企業から直接、返還金額を送付することで、従業員の課税所得や標準報酬月額には影響を与えないこととする制度であり、企業は、学資に充てる費用となるため損金算入できるとする。



令和5年9月定例会
一般質問(山崎議員)

地域住民による魅力の語り合いを

部長 繋がる機会の創出と仕組みづくりを進める

問 地域住民が町の魅力を語りあい、繋がる機会が必要と思うが。

問 本町に住所を置く町民が、住み続けたいと思う環境づくりが大切と思うが。

答 住み心地の良いまちだと感じながらも、自慢できない、という人も多い。町としても、町民や地区が町の魅力を見出し合い、語り合い、繋がる機会を作り出すことが必要と考えており、人と人とまちが繋がる機会の創出、仕組みづくりも進めていきたい。

答 住みやすさや働きやすさを重視した情報発信が大切と考えている。20歳〜40歳対象のアンケートで、8割の方が住みやすいと評価し、7割以上が定住する意向をお持ちだった。町内に居住を希望される方への住宅相談体制の構築や、空き家活用への推進に取り組む。

新農業法人設立の進捗状況

どの程度の面積が農業 保全事業として復元が可能か

部長 10年後に100ヘクタールを想定



解消された耕作放棄地

問 農地バンク事業で、町内企業等の農業新規参入への支援で新農業法人の事業参入はどのような状況か。

答 農地バンク事業は、中期計画に掲げており、町と連携しながら、管理の難しい農地を有効利用するために集約し、町内企業が農業に新規参入する際に必要な農地をマッチングしていきたい。



令和5年9月定例会
一般質問(大竹議員)

問 生産研究事業で生産品として2、3種あげてあるが、商品化する過程で、農福連携の組織化を要望するが。

答 生産研究事業で、町内企業や名古屋経済大学の学生とも連携しながら商品開発に取り組んでいく。商品加工・袋詰めや梱包作業、栽培する人材確保も法人の課題と聞き、農福連携ということも将来取組んでいきたい。



安心安全に暮らすために

これからの公園の在り方とは

部長 多面的な活用ができる公園を考えている

問 公園樹木の老木化・高木化。

木陰を造り、眼の保養になるはずの緑の木々は、死角を作り見通しを悪くし、日中でも子どもだけで遊ぶには不安な雰囲気のある公園もある。もう少し見通しの良い安心な公園環境に整えることはできないか。

また、豪雨や大型台風等の災害リスクが懸念される中、公園に隣接する家屋等への倒木や電線への接触による火災への対策は。

答 本町の都市公園については、整備後20年以上経過した施設が多く、当時植樹された樹木も大きく育ち、景観やかもし出す雰囲気にも変化が生じているところが出てきたということかもしれない。

親しみのもてる安心安全な公園であり続けるためには、防犯面、災害面にも配慮すべきであり、樹木については、これまでの定期的な剪定に加え、枯木状況や木々の生長具合及びベンチ等園内施設との配置バランスを考慮しつつ、適宜間伐をする等して、良好な環境を整えていく必要があると認識している。



もっと安心な公園環境にする必要があるのでは

問 今後ますます多様化する時代において、本町が目指す公園の在り方とその役割への考えは。

答 うるおいのある快適な居住環境を形成するためには、公園・緑地や景観は、必要不可欠である。また、公園・緑地には、災害時における避難場所を提供する機能や地域コミュニティを育んでいく場としての役割もある。

近年、整備した多世代が集う憩い広場や役場南ひろばでは、園路や健康遊具を整備して幅広い世代の方に利用していただけるよう考えてきた。

施設規模にもよるが、多面的な活用としては、雨水貯留や非常時における災害用空地として活用できるような公園を考えている。



令和5年9月定例会
一般質問(松本議員)

お堀整備の現状は

部長 雑草対策で堀底にコンクリートを検討

問 現在、小口城址公園のお堀内は雑草が生い茂り、八ツ橋も腐食のため立ち入り禁止となっている。町としての対策は。

問 開園当初のように、お堀の中に花菖蒲やあやめを生育させることはできないか。

答 雑草対策としては、堀底をコンクリートで底打ちして確実な抑制を検討している。また、八ツ橋は腐食に加え、橋脚部分に土砂が堆積して雑草の繁茂を招いていると考えられるため、撤去の方向で考えている。

答 過去に何度か水中での生育を試みたが、数年経過すると株が痩せてしまい、根付かせることが困難だった。そのため、水中ではなく、堀の向こう岸にあたる石垣の手前に植栽柵を設け、その中の生育を考えている。



雑草が生い茂る小口城址公園のお堀

ラーケーションの日

制度の詳細と導入の経緯は

部長 県発信の休み方学び方改革として制定

問 本町における具体的内容・方針はどのようになっているのか。

答 コラーケーションの日は、校外での自主学習活動であるため、登校しなくても欠席とはならず、出席停止・忌引き等の扱いとなる。

また、職種による利用の制限は設けていないため、学校の先生にも、もちろん利用していただくことができる。

問 制度の導入にあたり、想定される問題点はあるか。また、その対応策はどうなっているか。

答 問題点の一つとして、取得日のタイミング。定期テストや卒業式など、学校全体に関わる行事の日は、取得を推奨しない日として告知する。

また、届出は生徒と保護者の連名で提出してもらい、受理の際には受取確認書を発行し、虚偽申請を防ぐよう努める。



令和5年9月定例会
一般質問(宮川議員)



子どもの権利のための条例

その取り組みや施行時期は

部長 今年度秋に検討委員会の設置

問 こども条例の取り組みの成果について進捗状況を。

11・12月には大人向けワークショップを開催する予定で、このように直接ご意見を聞く機会を設けながら、今年度の秋には学識経験者や子育て世代の方などを委員に、検討委員会を設置し内容の検討を始めていく。

答 「こども条例」の制定に向け、令和4年度に町内の児童・生徒にアンケート調査を実施した。

また今年度は、子ども
の直接意見を聞くために
ワークショップを開催し、
行動で社会や未来が変え
られること、行動するこ
とで自分たちの住むまち
をよくすることができると
感じていただけた。

11・12月には大人向け
ワークショップを開催す
る予定で、このように直
接ご意見を聞く機会を設
けながら、今年度の秋に
は学識経験者や子育て世
代の方などを委員に、検
討委員会を設置し内容の
検討を始めていく。

また今年度は、子ども
の直接意見を聞くために
ワークショップを開催し、
行動で社会や未来が変え
られること、行動するこ
とで自分たちの住むまち
をよくすることができると
感じていただけた。



令和5年9月定例会
一般質問(江幡議員)

学校給食費を無償に

国が無償化を早く実施するためにも、本町が実施してはどうか

部長 町独自としては今の半額助成を維持

問 少子化対策は国を挙げて、取り組みを求められている事である。政府の無償化への方向性は出され、近い将来、無償化が実現すると考えられている。

答 本町では、平成22年から学校給食費の半額補助をしており、年間約5500万円程度のお金を支出している。無償化となると倍のお金が必要になる。この制度導入当時の町の財政運営環境から現在は大きく変化をし

ており、今後いろいろなものに経費がかかる。将来にわたって、次世代の子どもたちが利用する施設の改修が課題としてある中で、町としてはその課題の解決を優先してよく考えである。



進捗状況はどうなっているか

部長 周辺用地の取得の検討をはじめたい

問 北保育園、西保育園に続いて、2、3年後、南保育園の改築着手にあたり、拡張用地確保の見通しはできたか。

答 南児童センター南側の農地所有者から、町に買取申出があり、今年度中に南保育園と児童センター一体整備のために取得する予定である。

これを機に、保育園の周辺用地の取得について検討をはじめたい。

問 社会情勢や労働状況の変化で、児童センター、児童クラブの利用者が増加傾向にあるので、センター、クラブは独立した施設となるか。

答 西小学校ではクラブハウス棟の建設を予定している。これにより児童センターで放課後児童クラブを行うのは南小学校だけになる。保育園の建設に合わせ、南地域の一体的な子育て拠点となるよう、今ある児童センターを活かし、児童クラブ棟の併設を考えていきたい。

問 保育レベルの向上を目指した規模の保育園を計画しているか。

答 南保育園の規模は未定だが、未満児室や調理室の充実、保育士から、北や西のような回廊のある保育園がよいとの意見が出ています。南地域の子ども将来推計を勘案して進めています。

法人町民税率の引き下げと固定資産税軽減

減収分の国の交付金はあるか

部長 減収分について国の交付金はない

問 「平成26年度から9年間の法人住民税と法人事業税交付金の額は約87億円で、平成25年度の税率12・3%で計算すると、額は約118億円となり、その差額は31億円のマイナスとなる。」との答弁があったが、税率引き下げによる減収分に係る国の交付金はあるか。

答 減収分について国の交付金はない。

問 生産性向上や賃上げ促進に資する償却資産の導入に係る固定資産税軽減制度は企業支援になるか。

答 平成30年度から令和4年度末までに先端設備等導入計画を認定(変更含む)した件数は、66件ある。導入した設備にかかる固定資産税が3年間、課税されないことは、設備投資を行った企業にとつては大きなメリットであったと考えている。



令和5年9月定例会
一般質問(丹羽議員)



議会 あれこれ

県大会（小型ポンプ操法の部）参加の消防団激励

8月5日、第68回愛知県消防操法大会が新城総合公園競技場にて行われ、江口議長をはじめ町議会議員で応援に行きました。猛暑にもかかわらず、消防団の皆様の機敏な動き、的確な号令等、日頃の練習で培われた技術やチームワークが存分に発揮されたのではないかと思います。

日々の努力の大切さと団結力の必要性を学びました。



競技前 江口議長による激励

チームの団結力の賜物

大口町消防団

団長 佐藤寿義氏

皆様、応援いただきありがとうございました。結果は、出場16団中5位入賞。競技大会ということで順位は付きものですが、この数ヶ月間の訓練を通して得た団員間の絆は、確実に深まり、今後の消防団活動に役立つものと確信しております。

今後とも格段のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

8月8日、大口西小学校長寿命化改修工事の様子を視察しました。

学校教育課の説明を聞きながら校舎内をまわり、「増築棟の普通教室」「メディアセンター（図書室）」「音楽室」「被服室」「屋根のある多目的に使える中庭」などを視察しました。印象的だったのは、開放的な空間と子どもの目線に合わせた校舎の造り、またエレベーターや可動式の黒板など、現代ならではの設備にも驚きました。

建て替えではなく長寿命化の選択をしたことが、今後控える町内公共施設老朽化問題の解決策への秘策となるか見極める必要があるかと思えます。

この素晴らしい校舎で子どもたちの健やかな成長が楽しみです。

「きれいになってうれしい」の声が聞けるといいな

西小学校長寿命化改修工事視察



メディアセンター



多目的に使える中庭

スキルアップのために

広報研修会に参加

8月9日、議会広聴広報常任委員会7名で愛知県町村議会議長会主催の広報研修会へ参加しました。議会広報サポーター芳野政明氏の講演を拝聴しました。

研修後半では、講師の「議会広報クリニック」を受け、大口町議会だよりは高評価をいただきました。これはひとえに先輩委員の丁寧な記事作成や、議会の見える化に真摯に取り組まれた結果と感じました。今後も町民の皆様にご覧いただける広報誌を目指して取り組みます。



研修会場アイリス愛知にて
県内28市町村約180名の参加あり

夏のひととき皆様とともに

夏のふれあいフェスティバルに参加

8月19、20日に開催された、大口町商工会主催「第48回 夏のふれあいフェスティバル」に参加しました。

今回、実に4年ぶりの開催となり、コロナ禍における閉塞感を吹き飛ばすかのように、会場は大盛況でした。各議員も町民の皆様と楽しいひとときを過ごさせていただきました。フェスティバルに関わった全ての皆様へ感謝申し上げます。



開会セレモニーでの江口議長あいさつ



大盛り上がりの会場

大口町商工会 会長 舟橋浩司氏

大口町商工会主催「第48回 夏のふれあいフェスティバル」にご参加を頂きましてありがとうございました。

2日間で、のべ1万人の方々のご来場をいただき、楽しんでいただきました。

今後とも大口町商工会にご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、お礼とさせていただきます。



その威圧的な態度アウトです!

8月24日、講師にあすなる法律事務所所長兼愛知学院大学特別教授の弁護士國田武二郎先生をお招きし、「ハラスメント研修」を受講しました。研修では、具体例として研修用ビデオを活用しながら、実際どのような言動がハラスメントに当たるかの再認識をすることともに、「加害者にも被害者にも成りえる」ことを学びました。

基本的なことではありますが、本人にその気はなくても言動を受けた側の気持ちが大切であることを心に留めて、今後の議員活動に活かしてまいります。

「その言動」再確認

ハラスメント研修受講



受講時の様子

町道小口線開通式典に参列

8月28日、町道小口線第2区間の開通に伴い、開通式典が行われました。江口議長以下議員が参列しました。

今回の開通で、地域の利便性の向上、渋滞回避のための住民地区内車両侵入の軽減による安全向上が期待できます。この先は、次計画の第3区間「町道 大口 町桃花台線」への接続に移ります。

この道路の計画は昭和46年から始まり、52年を経てついに完成しました。道路事業計画は長期に及びますが、さらなる利便性向上に期待します。

ついに完成 さらに利便性が向上



公用車による初走り

まちかどインタビュー

～大口町に期待することは?～

まちかどインタビューでは、毎号大口町民のみなさまから「これからの大口町に期待すること」について一言を書きいただき、その思い（または理由）を伺います。その内容については、住民の声として今後の議会活動の参考にいたします。



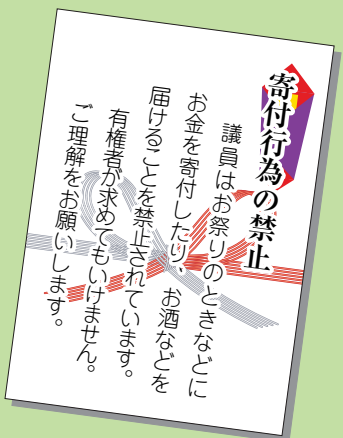
近くに公園がありますが、ゴミや犬のフンがあったり、大きな音楽をかけて騒いでいる人たちがいて怖い時があります。僕たちが安心して遊べる公園にしてほしいです。

(北小学校の児童のみなさん)



もっと多世代が交流できる機会を作ってもらい、若い世代の人たちにも積極的に、町の行事やボランティア活動などに参加してもらいたいです。

(重田さん 中小口地区)



会議録が閲覧できます
<https://www.town.oguchi.lg.jp/2741.htm>

12月定例会予定

- 11月30日(木) 開会・提案説明
- 12月 4日(月) 一般質問
- 12月 5日(火) 一般質問
- 12月 7日(木) 議案質疑
- 12月 8日(金) 議案質疑・委員会付託
- 12月12日(火) 総務建設常任委員会
- 12月14日(木) 文教福祉常任委員会
- 12月20日(水) 討論・採決・閉会

※日程は、変更になる場合があります。

議長	江口 昌史
副議長	佐本 與七
委員	山崎 卓美
委員	酒井 一平
委員	宮川 基英
委員	松本 佳子
委員	江幡 満志

【今月の表紙】
役場南ひろばのタータントラック(ゴムシート舗装)

令和5年4月27日に、大口中学校生徒より身体への負担軽減と安心して走る練習が可能な環境整備の要望を頂き、役場南ひろばの外周路が、生まれ変わりました。